

7 親子の同居

(1) 親との同居

—親との同居率は、男性が31.6%、女性が31.1%—

総人口（年齢不詳を除く）のうち親と同居している割合（同居率）は31.3%で、男女別では、男性が31.6%、女性が31.1%で、男性が0.5ポイント高くなっています。

配偶関係別に男女別の親との同居率みると、「未婚」は男性が57.4%、女性が71.5%で、女性が14.1ポイント上回り、「有配偶」は男性が6.6%、女性が6.6%で、単位未満の差で女性が上回っています。一方、「死別」は男性が2.9%、女性が1.5%で、男性が1.4ポイント上回り、「離別」は男性が15.3%、女性が14.8%で、男性が0.5ポイント上回っています。また、同居している者のうち「核家族で同居」の割合をみると、男女とも「未婚」は「核家族で同居」が大きく上回り、「有配偶」と「死別」は「核家族以外で同居」が上回っています。「離別」は男性が「核家族で同居」が6.9ポイント上回ったのに対し、女性は3.5ポイント下回っています。（表32）

表32 親との同居・非同居(3区分)、配偶関係(4区分)、男女別人口(H17)

男女 配偶関係 (4区分)	総 数 2)	同居して いない 3)	同居している		
			総 数	核家族で 同居している 4)	核家族以外 で同居 4)
総 数 1)	1 326 152	910 376 (68.6)	415 659 (31.3)	335 749 (25.3)	79 910 (6.0)
未 婚	577 400	211 732 (36.7)	365 582 (63.3)	329 674 (57.1)	35 908 (6.2)
有 配 偶	633 281	591 611 (93.4)	41 653 (6.6)	1 616 (0.3)	40 037 (6.3)
死 別	65 097	63 920 (98.2)	1 167 (1.8)	431 (0.7)	736 (1.1)
離 別	43 893	37 300 (85.0)	6 590 (15.0)	3 453 (7.9)	3 137 (7.1)
男	686 230	469 624 (68.4)	216 559 (31.6)	177 156 (25.8)	39 403 (5.7)
未 婚	335 149	142 848 (42.6)	192 262 (57.4)	173 661 (51.8)	18 601 (5.6)
有 配 偶	317 231	296 428 (93.4)	20 797 (6.6)	999 (0.3)	19 798 (6.2)
死 別	11 848	11 500 (97.1)	347 (2.9)	121 (1.0)	226 (1.9)
離 別	17 883	15 152 (84.7)	2 731 (15.3)	1 982 (11.1)	749 (4.2)
女	639 922	440 752 (68.9)	199 100 (31.1)	158 593 (24.8)	40 507 (6.3)
未 婚	242 251	68 884 (28.4)	173 320 (71.5)	156 013 (64.4)	17 307 (7.1)
有 配 偶	316 050	295 183 (93.4)	20 856 (6.6)	617 (0.2)	20 239 (6.4)
死 別	53 249	52 420 (98.4)	820 (1.5)	310 (0.6)	510 (1.0)
離 別	26 010	22 148 (85.2)	3 859 (14.8)	1 471 (5.7)	2 388 (9.2)

(1)内は割合(%)を表す。1) 配偶関係「不詳」を含む。2) 同居しているか否か判定できない者を含む。

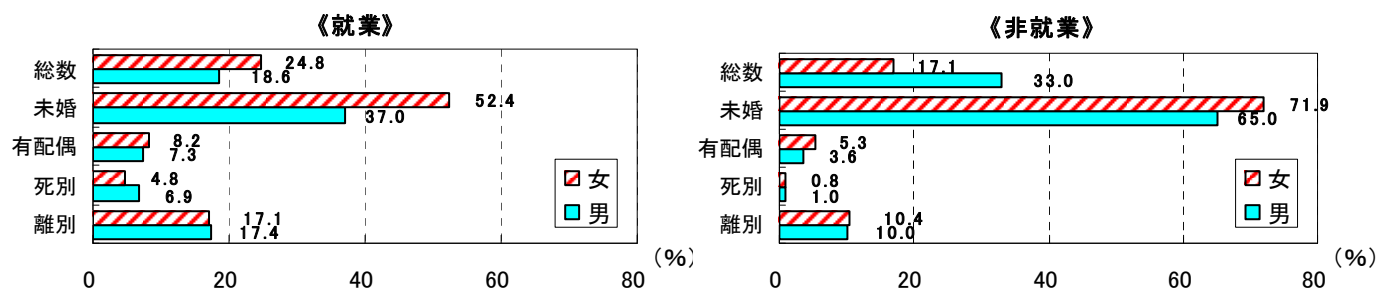
3) 「単独世帯」、「夫婦のみの世帯」、「非親族世帯」、「施設等の世帯」の世帯員も含む。

4) 本人からみて、親又は配偶者の親がいると判定できるものに限る。

—就業者は女性の同居率が高く、非就業者は男性の同居率が高い—

同様に、15歳以上人口の就業・非就業別の親との同居率みると、就業者は、「未婚」は男性が37.0%、女性が52.4%で5割を超え、女性が15.4ポイントと大きく上回り、「有配偶」は男性(7.3%)を女性(8.2%)が上回っているのに対し、「死別」は男性(6.9%)が女性(4.8%)を、「離別」も男性(17.4%)が女性(17.1%)を上回っています。就業者全体では「未婚」の女性に寄与して男性(18.6%)を女性(24.8%)が6.2ポイント上回っています。一方、非就業者は、「未婚」は男性(65.0%)を女性(71.9%)が、「有配偶」も男性(3.6%)を女性(5.3%)が、「離別」も男性(10.0%)を女性(10.4%)が上回っているのに対し、「死別」は男性(1.0%)が女性(0.8%)を上回っています。非就業者全体では「有配偶」の女性の非同居に寄与して男性(33.0%)が女性(17.1%)を15.9ポイント上回っています。（図35）

図35 配偶関係(4区分)、就業・非就業、男女別 15歳以上人口の同居率(H17)



—30・40・50代の男性の非就業者の同居率が高い—

配偶関係別に年齢(5歳階級)別男女別の親との同居率みると、「未婚」は全ての年齢階級で女性が上回っており、また男女とも年齢が上の階級になるほど同居率は低下しています。「有配偶」は30～54歳までの各階級では女性が上回っており、その他の階級では男性が上回っています。「死別」は男性の24歳以下が皆無で、「30～34歳」は女性が上回り、その他の階級では男性が上回っています。「離別」は30～39歳の各階級では女性が上回っており、その他の階級では男性が上回っており、「未婚」同様男女とも年齢が上の階級になるほど同居率は低下しています。

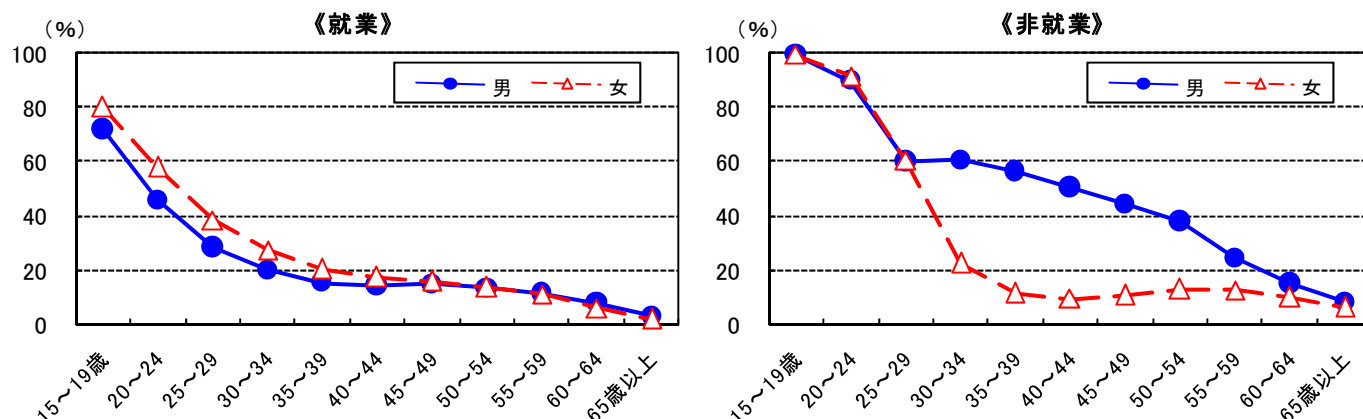
また、就業・非就業別に親との同居率をみると、就業者は54歳以下の各階級では女性が上回っており、55歳以上の各階級では男性が上回っています。一方、非就業者は「15～19歳」は男女同じ割合で、20～29歳の各階級では僅かに女性が上回り、30歳以上の階級では男性が上回っています。特に30～59歳の各階級では2桁のポイント差があり、「35～39歳」は45.2ポイントの差が開いています。(表33・図36)

表33 配偶関係(4区分)、年齢(5歳階級)、男女別 15歳以上人口の同居率(H17)

(%)

年齢 (5歳階級)	総数			未婚			有配偶			死別			離別		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総数	31.3	31.6	31.1	63.3	57.4	71.5	6.6	6.6	6.6	1.8	2.9	1.5	15.0	15.3	14.8
15～19歳	86.7	84.9	88.6	87.0	85.1	89.1	38.5	53.8	30.3	50.0	-	100.0	60.9	66.7	57.1
20～24歳	51.9	48.0	56.6	54.3	49.3	60.6	13.8	16.1	12.4	23.8	-	45.5	50.0	50.6	49.7
25～29歳	31.1	29.4	33.2	41.7	36.1	50.2	5.1	5.1	5.1	31.7	31.8	31.6	36.9	37.3	36.7
30～34歳	20.9	21.3	20.6	40.9	35.9	50.0	4.6	4.3	4.8	29.1	24.1	30.9	31.3	30.0	32.0
35～39歳	16.1	16.7	15.3	38.3	34.4	46.3	5.4	5.0	5.8	17.0	35.0	11.0	26.8	26.7	26.9
40～44歳	15.2	15.5	14.8	36.7	33.2	44.8	7.6	7.0	8.2	17.9	24.0	15.2	23.8	25.1	23.0
45～49歳	15.4	15.7	15.0	34.9	31.8	42.5	10.2	9.7	10.7	12.7	18.0	11.2	20.4	22.7	18.8
50～54歳	13.6	14.0	13.3	26.9	24.1	34.7	10.9	10.8	10.9	12.1	14.4	11.4	14.9	15.6	14.4
55～59歳	11.2	11.7	10.7	19.7	16.5	28.1	10.1	10.6	9.6	7.2	9.4	6.5	10.8	12.3	9.5
60～64歳	7.1	8.0	6.2	10.6	8.8	14.7	7.1	8.2	5.9	4.5	5.2	4.2	5.7	6.0	5.5
65歳以上	1.5	2.0	1.0	2.6	2.0	3.2	1.8	2.2	1.4	0.4	0.6	0.4	1.2	1.4	1.1

図36 就業・非就業、年齢(5歳階級)、男女別 15歳以上人口の同居率(H17)



(2) 子との同居

—子との同居率は、男性が29.6%、女性が38.4%—

総人口（年齢不詳を除く）のうち子と同居している割合（同居率）は33.8%で、男女別では、男性が29.6%、女性が38.4%となり、親との同居は男性が0.5ポイント高くなっていましたが、子との同居は女性が8.8ポイント高くなっています。

配偶関係別に男女別の子との同居率みると、「未婚」は女性（0.5%）が男性（0.1%）を0.4ポイント上回り、「有配偶」は女性（62.9%）が男性（61.1%）を1.8ポイント上回り、「死別」は女性（55.0%）が男性（46.0%）を9.0ポイント上回り、「離別」は女性（60.1%）が男性（18.0%）を42.1ポイントと大きく上回っており、全ての配偶関係で女性が上回っています。

男女別に年齢（5歳階級）別の子との同居率みると、男性は「30～34歳」（26.1%）、「35～39歳」（41.6%）で大きく上昇し、「50～54歳」（56.8%）で最も高く山となり、55歳から低下し、「75～79歳」（32.2%）を谷として再び上昇し、「90～94歳」（43.1%）をもう一つの山とした緩やかなM字型となっています。女性も「30～34歳」（41.9%）、「35～39歳」（59.1%）で大きく上昇し、「45～49歳」（73.6%）で最も高く山となり、50歳から低下し、「70～74歳」（37.0%）を谷として再び上昇し、「90～94歳」（56.2%）をもう一つの山とした、男性よりもはっきりとしたM字型となっています。なお、全ての年齢階級で女性が上回っています。（表34・図37）

表34 子との同居・非同居(3区分)、配偶関係(4区分)、男女別人口(H17)

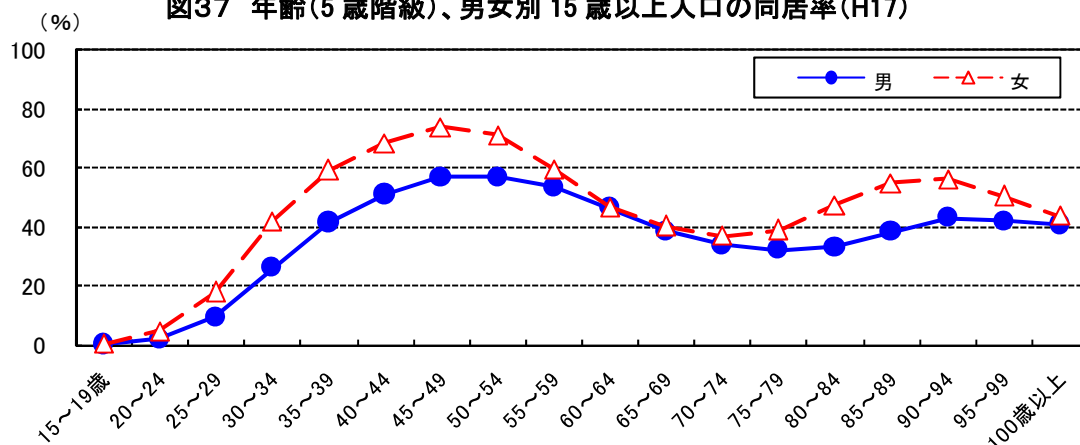
男 女 配偶関係 (4区分)	総 数 2)	同居して いない 3)	同居している		
			総 数	核家族で 同居している 4)	核家族以外 で同居 4)
総 数 1)	1 326 152	877 125 (66.1)	448 562 (33.8)	382 501 (28.8)	66 061 (5.0)
未 婚	577 400	575 795 (99.7)	1 406 (0.2)	839 (0.1)	567 (0.1)
有 配 偶	633 281	240 583 (38.0)	392 579 (62.0)	347 892 (54.9)	44 687 (7.1)
死 別	65 097	30 314 (46.6)	34 759 (53.4)	19 085 (29.3)	15 674 (24.1)
離 別	43 893	24 921 (56.8)	18 855 (43.0)	14 045 (32.0)	4 810 (11.0)
男	686 230	483 010 (70.4)	203 041 (29.6)	177 760 (25.9)	25 281 (3.7)
未 婚	335 149	334 791 (99.9)	257 (0.1)	93 (0.0)	164 (0.0)
有 配 偶	317 231	123 250 (38.9)	193 921 (61.1)	171 944 (54.2)	21 977 (6.9)
死 別	11 848	6 397 (54.0)	5 448 (46.0)	3 267 (27.6)	2 181 (18.4)
離 別	17 883	14 651 (81.9)	3 218 (18.0)	2 303 (12.9)	915 (5.1)
女	639 922	394 115 (61.6)	245 521 (38.4)	204 741 (32.0)	40 780 (6.4)
未 婚	242 251	241 004 (99.5)	1 149 (0.5)	746 (0.3)	403 (0.2)
有 配 偶	316 050	117 333 (37.1)	198 658 (62.9)	175 948 (55.7)	22 710 (7.2)
死 別	53 249	23 917 (44.9)	29 311 (55.0)	15 818 (29.7)	13 493 (25.3)
離 別	26 010	10 270 (39.5)	15 637 (60.1)	11 742 (45.1)	3 895 (15.0)

()内は割合(%)を表す。1) 配偶関係「不詳」を含む。2) 同居しているか否か判定できない者を含む。

3) 「単独世帯」、「夫婦のみの世帯」、「非親族世帯」、「施設等の世帯」の世帯員も含む。

4) 本人からみて、子又は子の配偶者がいると判定できるものに限る。

図37 年齢(5歳階級)、男女別15歳以上人口の同居率(H17)



(3) 大都市との比較

－就業者の同居率は大都市中最も低い－

15 大都市の親と同居している割合（同居率）をみると、静岡市が 39.5% で最も高く、唯一全国（37.9%）を上回っており、本市（31.3%）は 12 番目で、最も低いのは東京都区部（29.1%）となっています。男女ともに静岡市（男 41.9%、女 37.2%）が最も高く、東京都区部（男 30.4%、女 27.7%）が最も低く、本市は男性（31.6%）が東京都区部に次いで低く、女性（31.1%）が 10 番目となっています。なお、全国を含め全ての大都市で男性の方が高くなっています。

配偶関係別の同居率をみると、「未婚」はさいたま市（79.9%）が最も高く、本市（63.3%）は 13 番目、「有配偶」は静岡市（18.1%）が最も高く、本市（6.6%）は 14 番目、「死別」も静岡市（3.0%）が最も高く、本市（1.8%）は 11 番目、「離別」も静岡市（23.2%）が最も高く、本市（15.0%）は 10 番目となっています。

また、15 歳以上人口の就業・非就業の同居率をみると、就業者は静岡市（34.9%）が最も高く、本市（21.0%）は最も低くなっています。これは本市の特徴でもある単身の若い生産年齢人口割合が高いことが影響していると思われます。一方、非就業者はさいたま市（25.3%）が最も高く、本市（22.4%）は 9 番目となっています。（表 35・図 38）

表35 大都市、配偶関係(4区分)、男女別人口の同居率(H17)

配偶関係 (4区分)	(%)															
	全 国	札 幌 市	仙 台 市	さい たま 市	千 葉 市	東 京 都 区 部	川 崎 市	横 浜 市	静 岡 市	名 古 屋 市	京 都 市	大 阪 市	神 戸 市	広 島 市	北 九 州 市	福 岡 市
総 数	37.9	30.8	34.3	36.5	34.4	29.1	31.3	33.9	39.5	33.9	33.0	30.7	33.3	33.5	33.5	31.6
男		(13)	(4)	(2)	(3)	(15)	(12)	(5)	(1)	(6)	(10)	(14)	(9)	(8)	(7)	(11)
女		(12)	(4)	(2)	(5)	(15)	(14)	(9)	(1)	(7)	(8)	(13)	(6)	(10)	(3)	(11)
未 婚	78.2	68.4	67.1	79.9	77.9	60.4	63.3	75.9	79.5	71.7	67.2	66.4	76.6	75.7	77.2	63.1
有 配 偶	15.1	6.3	11.5	8.8	7.2	6.7	6.6	7.0	18.1	10.0	9.7	6.7	6.9	7.6	8.7	7.3
死 別	2.9	1.8	2.6	2.3	2.1	1.7	1.8	1.9	3.0	2.2	2.1	1.6	1.7	2.1	1.9	2.0
離 別	21.7	14.2	18.5	18.3	16.6	14.2	15.0	17.0	23.2	15.0	16.5	12.6	15.0	16.3	19.1	14.4
		(14)	(3)	(4)	(6)	(13)	(10)	(5)	(1)	(9)	(7)	(15)	(11)	(8)	(2)	(12)

下段()内数値は大都市中の順位。

図38 大都市、就業・非就業、男女別 15 歳以上人口の同居率(H17)

